

「道の駅遠山郷」の再整備について

産業経済部遠山郷観光振興室

■ 「道の駅遠山郷」の位置づけ

- 道の駅遠山郷は、リニア中央新幹線開業及び三遠南信自動車道の開通を見据えたときに「信州の南の玄関口」としての重要な役割が求められます。
- 飯田市の3つの観光拠点(遠山郷・リニア長野県駅・天龍峡)が連携し、これまで以上に質の高い観光案内・情報発信機能を強化し、遠山郷・伊那谷(南信州～上伊那)・長野県までの広域エリアを対象とした観光案内の拠点施設として位置づけます。
- この役割を果たすために、道の駅にこれまで求められてきた機能に新たに機能を追加することで、誰もが気軽に立ち寄ることができる道の駅遠山郷を目指します。

■ 「道の駅遠山郷」の経営を成功させるための改善施策

- ①目的地化:温泉の復活
- ②滞在時間(お客様単価)増:飲食体験／ロケーションを活かした自然体験
- ③動線改善:温泉施設として建設された仕様(靴を脱いでから入店する)の変更

- 道の駅遠山郷の経営を成功させるためには、施設改修を行ったとしても飲食、物販のみでは収益改善は見込めません。
- 新たな事業(自然体験、体験型飲食)等を展開すること、さらに顧客誘引効果が期待できる「温泉」を復活することで、道の駅遠山郷が目的地化され収益改善につながるものです。源泉掘削には時間も経費もかかるものの、道の駅再整備には温泉の復活が必要と考えます。

新たな「道の駅遠山郷」に導入する機能

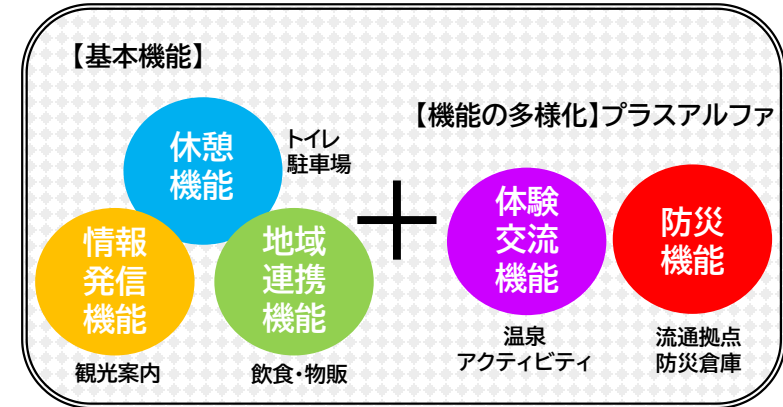
～「信州の南の玄関口」 情報・交流・チャレンジ・防災の拠点～

1 道の駅遠山郷に導入する機能の基本方針

道の駅は、道路利用者のための「**休憩機能**」、道路利用者や地域の人々のための「**情報発信機能**」、地域が連携しながら地域づくりを行うための「**地域連携機能**」の3つの基本機能を有することが求められている。

道の駅遠山郷の再整備にあたっては、この3つの基本機能に加え、遠山郷の魅力を満喫できる「**体験交流機能**」と、大規模災害等に対応するための「**防災機能**」を追加し、この機能が密接に連携し相乗効果を発揮する道の駅を目指す。

■ 導入機能



2 道の駅遠山郷における導入機能別の施設イメージ

(1) 休憩機能(駐車場、トイレ、休憩コーナー、ベビーコーナー等)

- ・自家用車、バイク、障がい者など全ての方にとって安全で使いやすい駐車場
- ・バリアフリーで誰もが利用しやすい清潔で広々としたトイレ
- ・子育て世代が安心して快適に利用できる温かみのある施設
- ・ドライバー、ライダーが疲れを癒す居心地の良い休憩施設

(2) 情報発信機能(情報コーナー、案内機能) ※資料No.2-3参照

- ・交通情報、気象情報、災害情報等の提供、地域情報の発信
- ・遠山郷、伊那谷(南信州～上伊那)、長野県の観光、イベント情報、歴史・文化等の紹介施設
- ・エコパーク・ジオパーク、エコ登山、山岳高原観光などを目的に遠山郷を訪れた方々への情報提供
- ・安心してツーリングを楽しむためのツーリングプランやトラブル解決のためなどライダー向け情報提供

(3) 地域連携機能(物販コーナー・レストラン)

- ・遠山郷の豊かな恵みを提供する特産物など土産品の売店
- ・遠山郷でしか味わえない料理を提供するレストラン
- ・人々が繋がり、新しいことにチャレンジできる施設

(4) 体験交流機能(体験交流広場、温泉施設等) **NEW**

- ・温泉施設
- ・遠山郷の魅力を感じ、遠山郷の人々とふれあい、遠山郷を体感できる体験交流広場(BBQ、遠山川遊び、キャンプなど)
- ・遠山郷の風を感じ、その魅力を満喫できるライダー向け交流施設

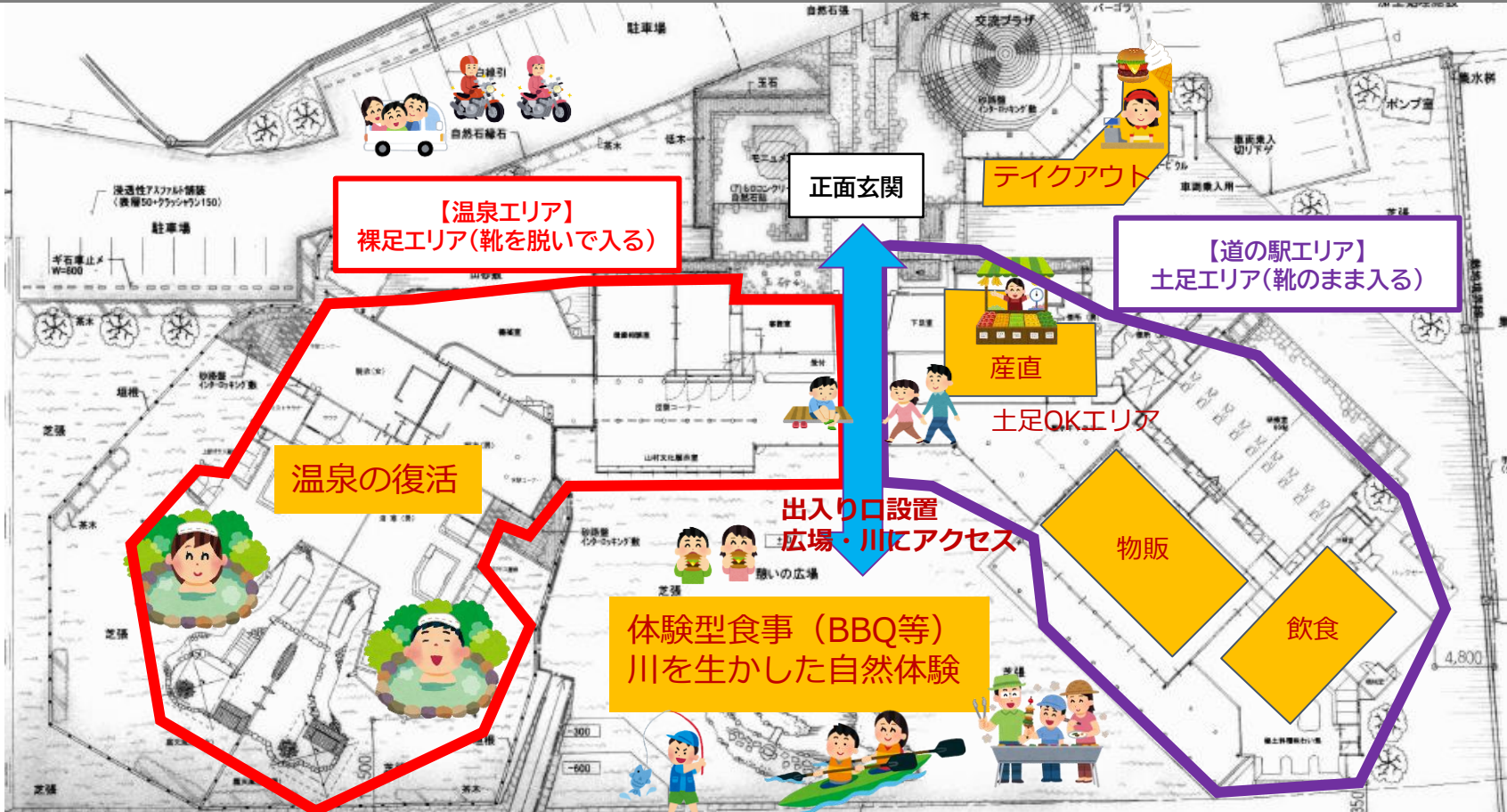
(5) 防災機能(駐車場、災害対応トイレ、防災倉庫など) **NEW**

- ・三遠南信自動車道の開通を見据えた広域的防災機能
- ・災害時に避難スペースとして活用可能な駐車場及び救援物資輸送拠点並びに避難所としての施設活用
- ・災害時でも使用可能なトイレ、大規模災害に備えた防災倉庫
- ・指定管理者による避難所の初動対応

(一社)全国道の駅支援機構
令和3年度道の駅遠山郷運営改善計画策定業務報告書(抜粋)より

■道の駅遠山郷の改善施策
①目的地化:温泉の復活 ②滞在時間(お客様単価)増:飲食体験/ロケーションを活かした自然体験 ③動線改善:施設の仕様の変更

・産直を建物内に移転。建物内は下足室を移転し、土足OKエリアを設けることで、お客様が気軽に物販や飲食エリアに立ち入ることを可能にする。元の産直のエリアには新たにテイクアウト店舗を設置、建物には、**広場/川にアクセスできる出入り口を設置し動線を確保**、テイクアウトや体験型食事等に屋外を有効活用する。
・温泉を復活(ポンプ回収もしくは再度採掘)させ、**温泉目的の利用者を呼び込む**。温泉利用者にも「リニューアル」した施設の魅力を訴求し、温泉以外のサービスの利用も促す。

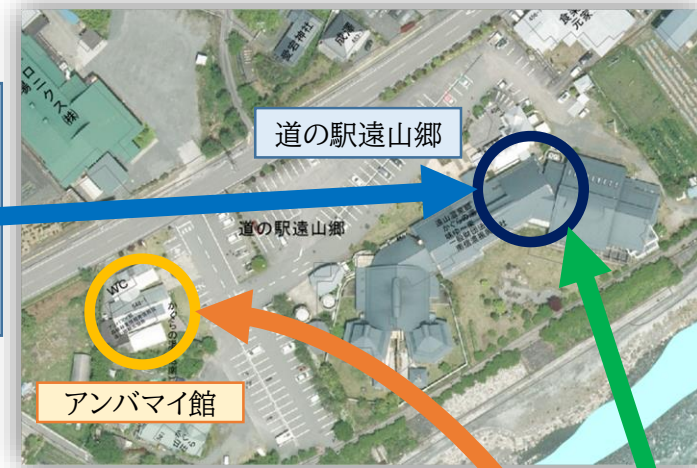


「道の駅遠山郷」がめざす観光案内・情報発信機能

～リニア中央新幹線開業、三遠南信自動車道の開通を見据えた「信州の南の玄関口」としての役割を果たす～

1 道の駅必須の情報発信機能

- ・道路情報、気象情報、災害情報の提供
- ・地域情報(観光・伝統・文化)の発信
 - ※24時間情報提供(無人)
 - ※デジタルサイネージ等活用による情報提供
 - やパンフレット等の設置

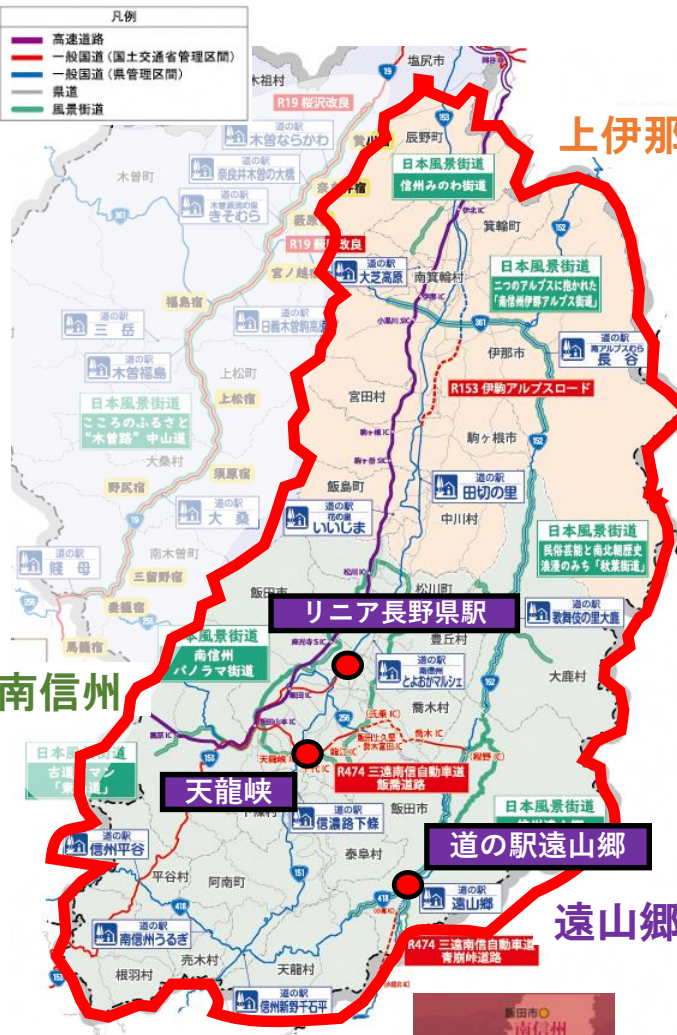


2 道の駅遠山郷観光案内所(仮称)における観光案内・情報発信機能

- ・飯田市の観光拠点「遠山郷・リニア長野県駅・天龍峡」が連携した情報発信機能の強化
- ・「遠山郷⇒伊那谷(南信州～上伊那)⇒長野県」及び三遠南信地域までの広域エリアを案内
 - ※市内3拠点が連携し、質の高いサービス(観光案内・情報発信)を提供
 - ※特に、伊那路エリア(上下伊那市町村)の自然・文化・歴史・イベント等の案内・情報発信
 - ※伊那路エリア内の道の駅、観光案内所が連携し、「宿泊・温泉施設」「食事処・カフェ」「買い物処」「ビューポイント」等の相互情報発信、「土産品・特産物・グッズ」の相互販売
 - ※エリア内の伝統芸能(霜月神楽・風流踊り・伝統浄瑠璃・獅子舞・歌舞伎等々)を映像交えて紹介

3 南アルプスビジターセンター(仮称)におけるアクティビティの拠点

- ・遠山郷観光協会による遠山郷におけるイベント含むアクティビティ(エコパーク・ジオパーク、エコ登山、山岳高原観光、遠山川など)の総合窓口・拠点施設
 - ※遠山郷観光協会に所属する南信州山岳文化伝統の会、遠山ガイド会(ジオガイド)、下栗案内人の会、遠山郷探検隊などの各団体が連携し、体験メニューの造成・提供
 - ※案内人等が常駐し、訪れた観光客へアクティビティの情報発信・案内を行う



【画像：飯田国道事務所HPから】



道の駅遠山郷 再整備に向けた想定スケジュール

項目	2022(令和4)年度												2023(令和5)年度												2024(令和6)年度												2025(令和7)年度												2026 (令和8) 年度以降						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
新たな経営体の設立及び経営計画策定	新会社設立準備、経営方針・計画及び収支計画策定 ⇒市へ報告												新会社経営開始																																										
道の駅遠山郷(かぐらの湯含む)リニューアル(施設改修)													基本設計						実施設計						改修工事(道の駅エリアを先行)						道の駅遠山郷営業再開(温泉除く)																								
かぐらの湯(温泉)源泉掘削等													温泉引湯管通水事前調査						7月書類提出、9月温泉審査部会想定						県環境審議会温泉審査部会申請手続き(土地掘削許可申請)						11月書類提出、1月温泉審査部会想定												温泉利用許可申請(保健所)												
													源泉掘削工事契約手続き						源泉掘削工事・揚湯試験						動力設備工事						かぐらの湯(温泉)営業再開																								
	中橋の復旧工事及び温泉管の設置工事																																																						
観光案内機能(市内3拠点)													観光案内機能(市内3拠点;遠山郷・リニア駅・天龍峡)の検討												道の駅遠山郷での観光案内開始																														
アンバマイ館機能													遠山郷におけるアクティビティのメニュー造成・発信(遠山郷観光協会及び各種団体)(南アルプス、エコ・ジオパーク・山岳高原観光など)												南アルプスビジターセンター(仮称)としての活動開始 ※遠山郷をフィールドとしたアクティビティの拠点施設																														

※スケジュールは現時点(2023年2月)での想定のものであり、今後変更となる可能性があります。